

# 平成26年度 研究推進計画

(警固屋) 中学校区 校番 (8) (警固屋中) 学校

校長名 坂口守

## 1 研究主題、研究内容・方法等について

### ① 研究主題

豊かなことばを基盤とした確かな学力の育成  
 ～ 「自分の考えを表現する場」の設定を通して ～

### ② 主題設定の理由

学習指導要領にも示されているように、思考力・判断力・表現力等を育む観点から、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図ることが求められている。

これまでの本学園の児童生徒は、自分を表現する際、表現することばが単語のみで、文末まできちんと表現できないことや、筋道を立てたことばにならないことが課題として多く見られた。

そこで、平成25年度は、研究主題を「豊かなことばを基盤とした確かな学力の育成」とし、各教科・領域等において、豊かな言葉を基盤とした言語活動の充実を図ることを通して、確かな学力（自分を表現する力）を育成することに取り組んできた。

これにより年度末には、発表の際、文末まで意識して話す生徒や、理由を付けて発言する生徒が多く見られるようになった。

しかし、平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙調査において、思考力に係る質問のうち、「ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えている。」「自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いている。」では、肯定的評価が62.6%（2項目の平均）にとどまり県平均を3.7ポイント下回っており、引き続き本校の課題となっている。

そこで本年度は、思考したことを自分のことばで表現させることにより、生徒がもつ考えの変容を把握しながら、その深化を図りたい。そのために授業の中で「自分を表現する場」の設定を工夫して思考力を深めていく。

### ③ 研究仮説

授業の中で「自分の考えを表現する場」の設定を工夫すれば、確かな学力を育成することができるであろう。

### ④ 研究内容と検証の指標・達成目標

<研究内容>	<検証の指標>	<達成目標>
「自分の考えを表現する場」の設定の工夫により変容した児童・生徒の姿をみとる。 1 場の設定は有効か。  2 思考が深まったか。	○質問紙（児童・生徒用） 「授業において、自分の思いをはっきり表現できるようになった。」 ○授業評価アンケート（教職員用） 「授業において、『自分の考えを表現する場』の設定は有効であったか。」 ○質問紙（児童・生徒用） 「ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えている。」 「自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いている。」 ○授業評価アンケート（教職員用） 「本時の展開を通して、児童・生徒の思考は深まったか。」	○肯定的評価85%以上  ○肯定的評価70%以上  ○肯定的評価70%以上  ○肯定的評価70%以上

## 2 検証計画

質問紙（児童・生徒用）  
 授業評価アンケート（教職員用）

4月・(6月)・7月・12月・2月  
 各研究授業にて

### 3 研修計画

		【研修内容】	【担当】
理論の共有	4月3日 (木)	第1回学園研修会「今年度の研究の方向性と教育目標の共有化」	研究推進小委員会
	5月13日 (火)	第2回学園研修会「思考が深まるとは」	研究推進小委員会
	6月26日 (木)	第3回学園研修会「授業モデル」	研究推進小委員会
	7月29日 (火)	第4回学園研修会「サテライト研修：評価の充実（広島県立教育センターから講師の先生を迎えて）」	研究推進小委員会
実践研究	8月5日 (火)	第5回学園研修会「総合的な学習の時間の9年間の指導計画の交流」 「配慮を要する児童・生徒にかかわって」	教育課程小委員会 生徒指導小委員会
	8月11日 (月)	第6回学園研修会「児童・生徒理解を深めるためにⅡ～スクールカウンセラーによる研修～」 「学力調査の課題分析」	生徒指導小委員会 研究推進小委員会
	9月30日 (火)	第7回学園研修会「学園研究授業（中学校）と全体協議」	研究推進小委員会
	10月28日 (火)	第8回学園研修会「学園研究授業（小学校）と全体協議」	研究推進小委員会
来年度課題設定	12月9日 (火)	第9回学園研修会「生徒指導から「自立ノート」の活用」	生徒指導小委員会
	1月15日 (木)	第10回学園研修会「本年度の成果と課題」	研究推進小委員会
	2月20日 (金)	第11回学園研修会「学力向上マップからみる学習面の課題」	研究推進小委員会
	3月13日 (金)	第12回学園研修会「次年度に向けて」	研究推進小委員会

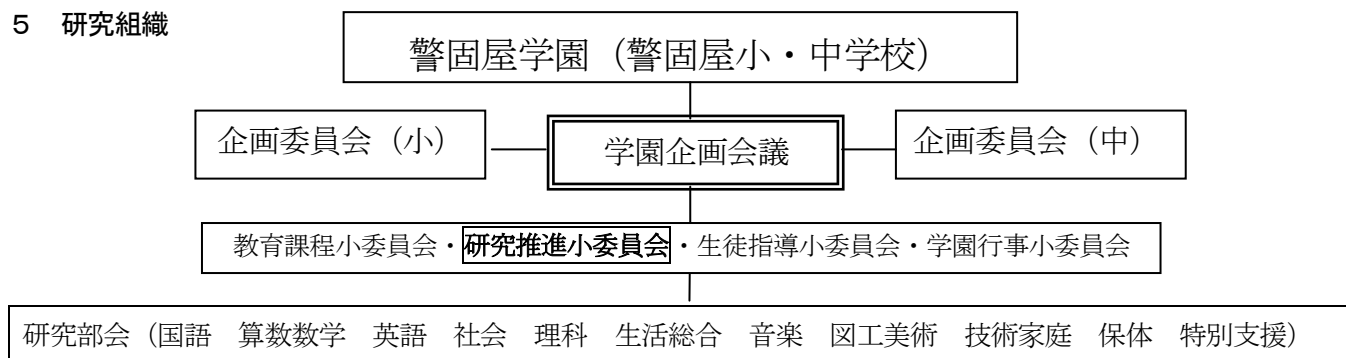
\*学園研修会の他に、毎月1回程度、各小学校、中学校で校内研修会（服務規律、生徒指導、法規、特別支援、学習評価、研修報告、公金等、学籍管理など）を実施する。

\*授業力向上を図るため、一人1回研究授業を行う。（できる限り指導主事を招聘する。また、授業後に協議会を行う。）

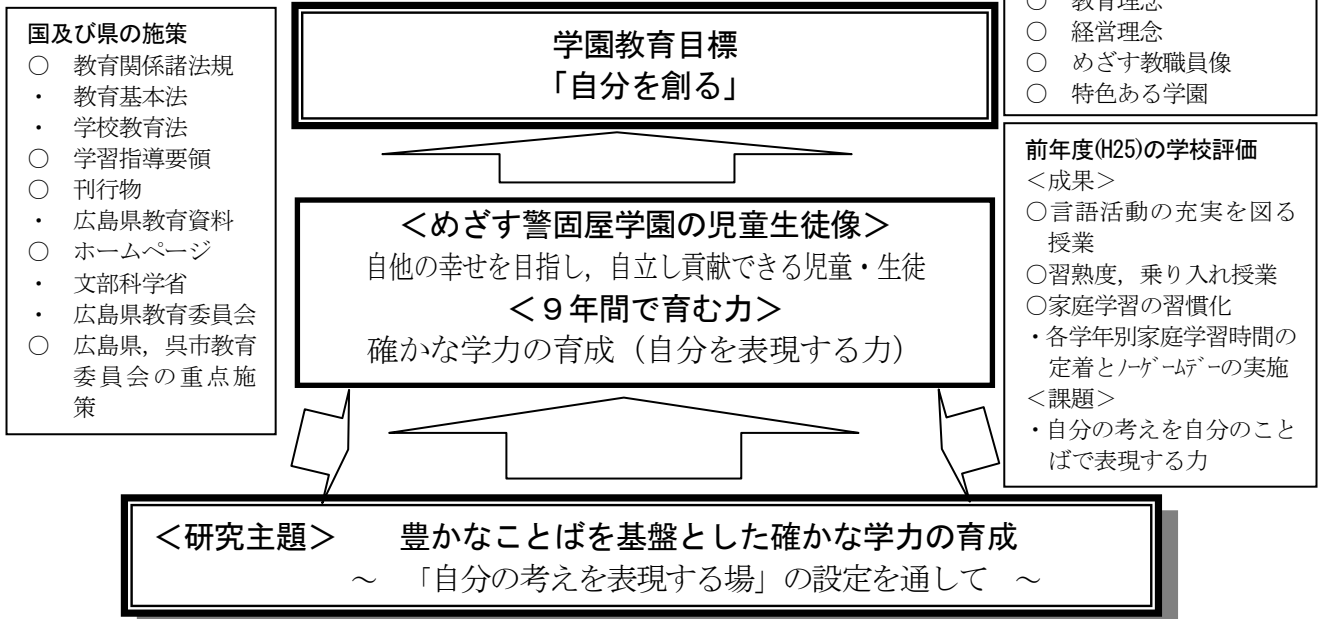
### 4 研究公開の予定について

	平成26年9月13日（土）
タイプ	報告型
公開範囲	地域（保護者、学校評議員、地域住民等）
公開内容	公開授業

### 5 研究組織



6 平成 26 年度警固屋学園研究構想図



＜仮説＞授業の中で「自分の考えを表現する場」の設定を工夫すれば，確かな学力を育成することができるであろう。

**＜今年度の研究内容＞**

「自分の考えを表現する場」の設定の工夫により変容した児童・生徒の姿をみとる。

- 場の設定は有効か。
- 思考が深まったか。

※別紙「警固屋学園学びの姿」により授業を展開する。

